

ONCC 第 10 期生 ぶらっと散策 3 第 13 回

茨木市 溝咋神社・沢良宜コース

日時：2023 年 1 月 19 日(木) 出発：午前 10 時 解散：午後 3 時

天候：快晴

出席者：受講生 33 名、CA3 名 ガイド 5 名 計 41 名

午前 9 時 50 分に阪急南茨木駅 1 階のエスカレーター下の広場に集合し、ガイドさんから本日の予定・注意事項の説明を受けた後、A 班（1 班と 4 班）と B 班（2 班と 3 班）に分かれて出発しました。

案内ボランティアガイドさんは茨木市観光協会の伊部チーフ、今村氏他 5 名、さらに午後から 1 名合流。

天気は晴れ、風も無く絶好の散策日和になりそう。

写真後ろの大きなロボットはサンチャイルド像、茨木在住の日本を代表する現代美術家の矢延憲司氏が東日本大震災 1 年後に"日本の復興と再生"を願った作品。



文化財資料館内にある銅鐸鑄型。実物大の完全な鑄型としては他には見られない貴重な物とか。

今日はあいにく小学生など子供を招待しているので「ぶらっと散策」全員での案内ガイドは出来ず個人として短時間の見学に終わった。

ガイド案内は横裏手にある史跡公園で行われた。



沢良宜神社:島下郡の式内社。通称「大宮さん」

周囲は藤原氏の荘園で有ったので室町幕府將軍足利義時から直参旗本の「御馬廻り免状」を貰う。神社の境内は南北に長く乗馬訓練の馬場が有ったとされる。

佐奈部神社

稲葉町に鎮座する神社。ご祭神は春日大神と応神天皇。境内の参道には常夜灯が建てられているが、その下には村同士の争いの元だった地車(だんじり)や山車(だし)が埋められている。

5月17日の春祭りと10月17日の秋祭りには娘の嫁ぎ先や嫁の実家も親戚を招待して、ぜんざい、すき焼き、巻き寿司でもてなす。



溝昨(みぞくい)神社:

第10代崇神天皇時代に創建された延喜式内社の一つ。室町時代に改築、江戸中期に再建された。当社の神宝に「暁の御鏡」が有るが、親王から賜ったもの。天長年間に起こった早魃の際、鏡を斎殿に置いて雷祭を行った所、降雨があり郷民が歓喜し鏡を祀った。



牟礼遺跡は昭和60年(1985年)イオン新茨木店(JR線路挟んで立命館大学が有るイオンでは無く物流主体,最寄り駅阪急茨木市)が建設された時に発見され牟礼神社から命名された。

自然流域に木杭や板材を組んで作った堰や足跡が残る水田が発見された。また縄文から弥生時代の壺なども発見された。見えるのは建物裏側に立て看板1枚だけ。

本日は、晴天に恵まれて最高の散策日和でした。ガイドさんありがとうございました。皆さんお疲れ様でした。

記録：3班